

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育心理学（Educational Psychology）		
ナンバリングコード	K10103	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目（必修）		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001401	クラス名	-
担当教員名	中尾 正彦		
履修上の注意、 履修条件	教員免許を取得したい学生は必ず受講してください。 授業には積極的・主体的に臨むとともに、講義中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員になるのに相応しくない行為は厳禁です。講義には毎回出席し、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報・連・相」を身に付けましょう。		
教科書	「ようこそ教育心理学の世界へ 第3版」 神藤貴昭・久木山健一 北樹出版 2020		
参考文献及び指定図書	授業中に必要に応じて随時指示します。		
関連科目	心理学、発達心理学、青年心理学、その他心理系科目。教育相談、生徒指導、その他教職課程科目。		

○基本情報		
授業の目的	本講義では、学校現場に活かすことができる教育心理学（発達心理学含む）の知識の習得を目的とし、具体的には、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解し、習得することをめざします。	
授業の概要	・乳幼児から青年期の心身の発達に関する代表的理論を踏まえ、各段階における発達（運動面、言語面、認知面、社会性等）について、その具体的内容を学んでいきます。また、授業の形態や構造、教育評価と指導の関係、学習集団づくりなど、発達の特徴と関連づけながら教師の働きかけと子どもへの影響等を踏まえながら、教師の指導性について考察していきます。なお、いじめや不登校、発達障がいをはじめ、今日的な学校課題についてその現状と心理学的支援について深めていきます。	
	・毎回課題レポートを出します。提出方法は講義時に指示します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	スクールカウンセラーの経験や学校現場での教員経験（特に教育相談担当、生徒指導担当）を活かし、具体例を問題提起しつつ、教員に必要な専門的知識や実践的指導力を身につけさせたい。	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	教員採用試験科目でもあるので、教員採用試験受験予定の学生は積極的に取り組んでください。さらに、教員になるふさわしい授業態度・社会常識を修得すること。		5点	5点
【知識・理解】	教員は知的な職業ですから、一般教養・専門的知識を修得すること。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	教育は人間関係でもあるので、教育技能に加えて、コミュニケーション能力・学習板知識を表現・説明する能力を修得すること。		10点	10点
【思考・判断・創造】	教育には創造性が求められるので、思考・判断力を修得すること。	30点	10点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）	
○毎回課題レポートを実施します。評価基準は以下の通り。 A 授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べる事ができている。 B 授業内容をよく理解し、振り返ることができている。 C 授業内容をだいたい理解し、振り返ることができている。 D 授業内容を一部理解し、振り返ることができている。 レポートは次回以降の授業の際に返却する。 なお、レポートには質問や要望、意見等も書くことができるようになっている。遠慮せずに書いてほしい。 ○基本的な用語についての理解度を測る、中間確認としての「小テスト」を実施する（20点分）。評価基準はレポートと同様。	

○その他	
・教職必修科目です。他の教職課程科目も履修していることが履修条件となります。 ・教員を目指す人を支援するために、期末試験は教員採用試験に出題されるレベルの問題となりますので、そのつもりで履修し、学習を深めてください。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	教育心理学（Educational Psychology） 中尾 正彦	授業コード	K001401
学修内容					
1. 教育心理学とは					
・教育心理学とは何かについて学ぶ。					
・教育心理学の研究法について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.10-18)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
2. 発達					
・発達の基本的法則について理解する。					
・ピアジェ、エリクソン、コールバーグの各発達理論について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.19-34)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
3. 学習					
・学習とは何か。					
・学習理論（行動分析）について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.35-45)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
4. 動機づけ					
・外発的動機付け、内発的動機付けについて理解する。					
・自己効力感、学習性無力感について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.46-59)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
5. 知能・記憶・メタ認知					
・知能とはなにか。					
・各知能検査の概略を理解する。					
・記憶、メタ認知について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.60-71)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
6. 教授学習過程					
・授業の形態、構造について理解する。					
・授業分析及び教授学習過程について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.72-88)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
7. 教育評価					
・教育評価とは何か。					
・評価の時期と評価方法について理解する。					
・相対評価、絶対評価等について理解する。					
予習	教科書の該当箇所(pp.89-100)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間
8. 教師					
・好まれる教師と、嫌われる教師とは。					
・教師のリーダーシップについて理解する。					
・どのような教師を目指すのかの方向性を持つ。					
予習	教科書の該当箇所(pp.101-111)を予習しておく。				約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	教育心理学（Educational Psychology） 中尾 正彦	授業コード	K001401
学修内容				
9. 仲間関係				
・発達段階における仲間の意義、遊びの発達を理解する。				
・学級集団の発展について理解する。				
・青年期の仲間関係について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.112-126)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
10. パーソナリティ				
・パーソナリティの類型論、特性論について理解する。				
・パーソナリティ検査の概要を理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.127-137)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
11. 学校における不適応				
・いじめ、不登校問題について理解する。				
・学級崩壊について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.138-153)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
12. ストレスと健康				
・ストレッサーとストレス反応について理解する。				
・ストレス状況における対応(コーピング)について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.154-169)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
13. 教育相談				
・教育相談とは何か。				
・カウンセリングの三大理論(精神分析、自己理論、行動療法)の概要を理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.170-184)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
14. 発達障がいと特別支援教育				
・主な発達障がいについて理解する。				
・特別支援教育の概要を理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.185-197)を予習しておく。			約2時間
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			約2時間
15. これまでの学修のまとめ				
○これまでの学修を振り返り、学んだことを発表したり、まとめたりする。				
(○試験や成績等について再確認する。)				
予習	これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。			約2時間
復習	これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。			約2時間
16. 期末試験				
予習	期末試験に備えてワークノートを整理します。			
復習	ありません。			